

単元名 点画の筆使い

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 筆使いと画の方向について理解し、筆使いと画の方向に気を付けて書くことができる。
 (2) 筆使いと画の方向に気を付けて、自分の課題を考えて書くことができる。
 (3) 筆使いと画の方向に気を付けて、字形を整えて書こうとする。

標準的な展開例

04020102_001

【教材名】『花』（毛筆）／レッツ・トライ 学習内ようをまとめる

(P. 15～P. 19)

【準備等】水書板、電子黒板、練習用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 穂先の向きと通り道に気を付けて、『花』を書く。 ★点画の筆使いに気を付けて書こう ○硬筆と毛筆で『花』を試し書きし、課題をつかむ。</p> <p>○試し書きと教材文字を比較して、穂先の向きや通り道はどうなっているかを話し合う。</p> <p>○練習する。</p> <p>○まとめ書きをする。</p> <p>○試し書きと比べて評価する。</p> <p>○硬筆でまとめ書きし、花が付く言葉を探して書く。</p> <p>3 横書きの書き方を理解し、文字の大きさや配列に気を付けて書く。 ★内容がよく伝わる発表資料のまとめ方を知ろう ○読み手に内容がよく伝わる資料のまとめ方について話し合う。</p> <p>○まとめ方のポイントを確認する。</p> <p>○練習する。</p> <p>○フェルトペンなどでなぞる。</p> <p>○様々な教科の発表資料に生かそうとする意識をもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆は、教科書P. 16の「ためし書き」の欄を活用させる。 ・毛筆は教科書を見ないで書くようにする。 ・教科書P. 16の「考えよう」を参照に、穂先の向きと通り道がどのようになっているか話し合わせる。 ・特に七画目の「曲がり」と「はね」に注意しながら、穂先の向きを空書で確かめさせる。 ・分解文字で点画の適切な方向を示すようにする。 【評】話し合いの様子や作品を通して、穂先の向きと通り道に対する「知識・技能」を評価する。 ・試し書きと教科書の文字を比べ、自分の課題を見付けよう助言する。 ・自己の課題に合った練習用紙を選択して練習できるようにする。 【評】練習や作品を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・再度穂先の向きと通り道に気を付けて書くことを確かめる。 ・試し書きと比べ、基準達成を確認できるように伝える。 ・友達同士でめあてに気を付けて書けたところを見付けて話し合うように促す。 【評】作品や自己評価を通して、筆使いや通り道と自分の課題を考えて書く「思考・判断・表現」を評価する。 ・教科書P. 16の「まとめ書き」の欄を活用させる。 ・花が付く言葉を想起できるよう助言する。『…の花』としてもよいことにする。 ・模造紙を用いた発表を想定した社会科の発表資料を作る時の具体的な手立てを考えるようにする。 ・P. 18～P. 19の①～⑤を見て、読む相手への意識を明確に持たせる。 ・文字の大きさや配列に気を付けて、発表資料の一部を書く練習をさせる。 ・鉛筆で題名、見出し、本文を書かせて、それぞれの字の大きさや配置を意識させる。 ・書けたものについて、文字の大きさや配置について話し合い、適切でない部分は書き直させる。 ・なぞる時には鉛筆との違い（消せない、太いなど）に気付くよう助言する。なぞった後に鉛筆の下書きは消すように指示する。 【評】作品を通して、文字の大きさや配列に対する「知識・技能」を評価する。 ・大きさや配列などに気を付けて、読み手に内容がよく伝わる発表資料を書くことを喚起する。

【 備 考 】